

警戒レベルと避難のタイミング

災害発生又は切迫

警戒レベル5緊急安全確保は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。自宅の上の階やがけから離れた部屋に移動しましょう。



災害のおそれ高い

警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。



災害のおそれあり

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。



▶ 町が出す避難情報 → 必ず安全な場所に避難

▶ 気象庁などが出す警戒レベル相当情報 → 自分の判断で避難

警戒レベル (避難情報等)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	町が出す避難情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	---
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	---

## 警戒レベル相当情報 (防災気象情報)

気象庁等が出す情報		
雨の情報 (警報等)	河川の情報 (指定河川洪水予報)	キキクル (危険度分布)
5相当 大雨特別警報	氾濫発生情報	災害切迫※2
4相当 土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	危険※2
3相当 大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	警戒 (警報級)
2相当 大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報	注意 (注意報級)
1	早期注意情報 (警報級の可能性)	---

災害発生のおそれがある場合、2タイプの情報が出されます。町が出す避難情報に付される「警戒レベル」と気象庁や京都府が出す防災気象情報に付される「警戒レベル相当情報」です。「警戒レベル」はとるべき避難行動を住民の皆様へ促す情報です。「警戒レベル相当情報」は住民の皆様の自主的な避難行動の参考となる状況情報です。それぞれの情報が出るタイミングは同時になるわけではありません。「自らの命は自らが守る」意識をもって、危険を感じたら迷わず避難しましょう。

※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 「災害切迫」や「危険」という表現は令和5年4月時点での情報であり、変更される場合があります。

# 台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は? 必ず取り組みましょう

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、京丹波町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**(自宅の外に避難)が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、  
 ①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
 ②浸水する深さよりも高いところにいる  
 ③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**(自宅に留まり安全確保をすること)も可能です。

解説は2、3ページをご覧ください

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、京丹波町が指定している避難所に避難しましょう

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4避難指示が出たら、京丹波町が指定している避難所に避難しましょう